

必修問題対策

出題範囲：出題項目252項目

目標Ⅰ：健康および看護における社会的・倫理的側面について基本的な知識を問う

目標Ⅱ：看護の対象および看護活動の場と看護の機能について基本的な知識を問う

目標Ⅲ：看護に必要な人体の構造と機能および健康障害と回復について基本的な知識を問う

目標Ⅳ：看護技術に関する基本的な知識を問う

目標Ⅰ⇒統計・社会保障（暗記）

令和3年（2021年）の人口動態統計における死亡場所で最も多いのはどれか。

【第113回午前問題2】

1. 自宅
- ② 病院
3. 老人ホーム
4. 介護医療院・介護老人保健施設

日本の令和4年（2022年）の死亡数に近いのはどれか。

【第111回改】

1. 96万人
2. 116万人
- ③ 156万人
4. 166万人

日本人の食事摂取基準（2020年版）に示されている、18～49歳女性（月経あり）の鉄摂取推奨量はどれか。

【第113回午後問題2】 ※不正解者は採点除外

1. 5.5mg/日
- ② 10.5mg/日
3. 15.5mg/日
4. 20.5mg/日

日本人の食事摂取基準（2020年版）において、摂取量の減少を目指しているのはどれか。

【第101回改】

1. カリウム
2. 食物繊維
- ③ ナトリウム
4. カルシウム

目標Ⅱ⇒〇〇看護学概論

成長・発達における順序性で正しいのはどれか。

【第113回午後問題6】

- ① 頭部から脚部へ
2. 微細から粗大へ
3. 複雑から単純へ
4. 末梢から中心へ

子どもの運動機能の発達について正しいのはどれか。★

【第102回・第93回類題】

1. 身体の下部から頭部の方向に進む。
- ② 全身的な動きから細かな動きへ進む。
3. 新生児期には遺伝より環境の影響を受ける。
4. 反射運動は乳児期後期から幼児期にかけて活発になる。

老化に伴う視覚の変化で正しいのはどれか。

【第113回午後問題8】

- ① 視野が狭くなる。
2. 近くが見やすくなる。
3. 色の識別がしやすくなる。
4. 明暗順応の時間が短縮する。

老年期の身体機能変化で正しいのはどれか。

【第98回】

1. 視野は拡大する。
2. 唾液量は増加する。
- ③ 皮膚感覚は低下する。
4. 聴力は低音域から低下する。

★は一般問題から出題

必修問題対策

目標Ⅲ⇒解剖・症状・疾患・看護・薬理

免疫機能に関する細胞はどれか。
【第113回午前問題13】

1. 血小板
- ② 白血球
3. 網赤血球
4. 成熟赤血球

免疫機能に関する細胞はどれか。
【第104回】

1. 血小板
- ② 白血球
3. 網赤血球
4. 成熟赤血球

経口感染するウイルス性肝炎はどれか。
【第113回午前問題15】

- ① A型肝炎
2. B型肝炎
3. C型肝炎
4. D型肝炎

経口感染する肝炎はどれか。
【第101回】

- ① A型肝炎
2. B型肝炎
3. C型肝炎
4. D型肝炎

目標Ⅳ⇒看護技術

成人の静脈血採血の穿刺部位で適切なのはどれか。
【第113回午後問題22】

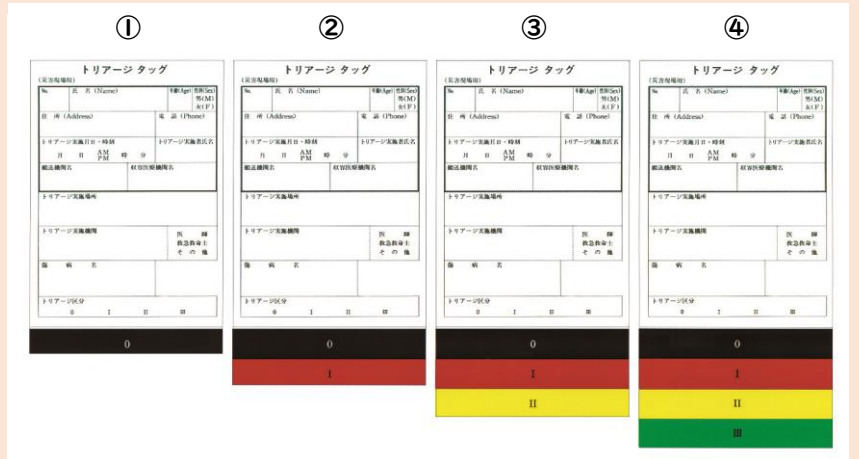
1. 腋窩静脈
2. 上腕静脈
3. 腕頭静脈
- ④ 肘正中皮静脈

一般検査時の採血に最も用いられる静脈はどれか。
【第103回・第108回類題】

1. 上腕静脈
2. 大腿静脈
3. 大伏在静脈
- ④ 肘正中皮静脈

トリアージタグを図に示す。
待機的治療群となるトリアージタグはどれか。
【第113回午前問題23】 ※不正解者は採点除外

1. ①
2. ②
- ③ ③
4. ④



災害時のトリアージで最優先治療群のトリアージタグはどれか。
【第102回】

- ① 赤
2. 黄
3. 黒
4. 緑

トリアージタグを装着する部位の優先順位で適切なのはどれか。
【第105回】 ★

1. 頸部→右手→左手→右足→左足
2. 頸部→左手→左足→右手→右足
3. 右手→右足→左手→左足→頸部
- ④ 右手→左手→右足→左足→頸部
5. 左手→右手→左足→右足→頸部

★は一般問題から出題

一般・状況設定問題対策

出題範囲

人体の構造と機能、疾病と成り立ちと回復の促進、健康支援と社会保障制度、基礎看護学、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、在宅看護論/地域・在宅看護論、看護の統合と実践

小脳の機能はどれか。
【第113回午前問題77】

1. 睡眠と覚醒
2. 姿勢反射の中樞
3. 振動感覚の中継
- ④ 随意運動の制御
5. 下行性の疼痛抑制

小脳の機能はどれか。2つ選べ。
【第104回】

1. 関節角度の知覚
2. 振動感覚の中継
- ③ 姿勢反射の調節
- ④ 随意運動の制御
5. 下行性の疼痛抑制

発災直後、自家用車に泊まり生活を始めた避難者に発生しやすいのはどれか。
【第113回午前問題73】

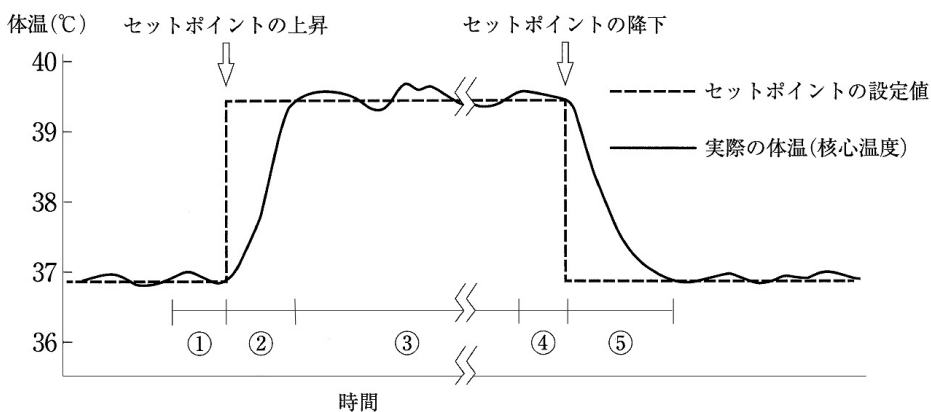
1. 生活不活発病
- ② 静脈血栓塞栓症
3. 圧挫症候群〈クラッシュ症候群〉
4. 心的外傷後ストレス障害〈PTSD〉

大地震後、自家用車内での生活を余儀なくされた避難住民への肺塞栓症予防の生活指導で適切なのはどれか。
【第99回】

1. 窓を常時開けて十分に換気する。
2. 上半身を高めにして睡眠をとる。
- ③ 座っている間も積極的に足の運動をする。
4. アルコール摂取などで熟眠できるようにする。

外傷や風邪で発熱し、解熱するまでの体温のセットポイントと実際の体温（核心温度）の変化の例を図に示す。全身のふるえが起こるのはどれか。
【第113回午後問題77】

1. ①
- ② ②
3. ③
4. ④
5. ⑤



体温のセットポイントが突然高く設定されたときに起こるのはどれか。
【第109回】

- ① 立毛
2. 発汗
3. 代謝抑制
4. 皮膚血管拡張

体温の恒常性を保つ中枢はどれか。
【第101回】

1. 大脳
- ② 視床下部
3. 橋
4. 延髄